



KIX in NIIGATA

プログラム／スピーカー紹介

日 時 2026年11月6日(金)15:00～17:50
会 場 NINNO プラザ2 2階

新潟県庁
一般社団法人 日本経済団体連合会

プログラム(案)

- 15:00 開 会
経団連 スタートアップ委員長・企画部会長 齊藤 昇 (BIPROGY代表取締役社長)
- 15:05～ 取組等紹介
新潟県庁代表者様(調整中)
経団連代表者(調整中)
- 15:15～ トークセッション
「地域連携によるイノベーション創出」(仮題)
地域イノベーション共創基盤 代表取締役 石川 翔太 様
JR東日本スタートアップ 代表取締役社長 柴田 裕 様
パソナグループ 常務執行役員 進藤 かおり 様
他1者(調整中)
- 16:00～ スタートアップピッチ(10社)
アイスライズ UPCYCLE Technologies デントエックス
日本ハイドロパウテック パンタレイ FieldWorks ForestFolks
プラントフォーム プロッセルホールディングス Lacus
- 17:00～ ネットワーキング
- 17:50 閉 会

アイスライス株式会社



代表取締役

高瀬 章充 タカセ アキミツ

<https://icerice.jp/>

登壇者プロフィール

複数の起業と行政職員を経験後、Socialups株式会社を設立。新潟県南魚沼市で地域の起業支援に携わる。2025年11月、雪を資源に変えるアイスライス株式会社を共同創業し代表取締役に就任。

企業概要

2025年11月に新潟県南魚沼市で設立されたフードテック×クライメイトテックスタートアップ（共同代表取締役：高瀬章充・原澤太一）。「雪の恵みを、どこへでも。」をミッションに、豪雪地の雪を地域資源として活用し、電力ゼロで0～5℃・湿度80%以上を保つ可搬型「コンテナ型雪室」の研究開発と販売・運用を行う。雪室熟成食材の商品企画、防災分野への応用、地域資源活用事業も手がけ、海外展開も目指している。

連絡先

takase@icerice.jp

08041298252



雪の恵みを、どこへでも。

Mobile & Modular:
20ft / 40ft コンテナ活用

Snow Tech:
雪による低温・高湿度で食材の保存と熟成

Sustainable Energy:
CO2排出ゼロ・電力に頼らない自然エネルギー



雪室の特徴



温度管理
0〜5°Cの自然な
低温環境



湿度管理
湿度80%以上の
高湿度環境



環境貢献
CO2排出ゼロの
エコ技術



運用安定
電力に頼らない
持続可能性



UPCYCLE Technologies株式会社



代表取締役CEO

小木 将綱

オギ マサツナ

<https://upcycletech.jp/>

登壇者プロフィール

複数の事業立ち上げを経験したリアルアントレプレナーとして、現在は独自の触媒式低温炭化技術を活用し、食品等の有機性廃棄物を資源化する資源循環事業を推進。国内外での実証・社会実装に取り組む。

企業概要

UPCYCLE Technologies株式会社は、「廃棄物を資源に変える資源循環インフラの構築」を掲げる新潟発のスタートアップです。独自の触媒式低温炭化技術により、食品残渣などの有機性廃棄物を約130℃で処理し、バイオ炭等の資源へ転換。排出現場で処理する分散型モデルを通じ、廃棄物の運搬・処理コストやCO₂排出の削減と、地域内での資源循環の実現を目指し、新しい資源循環インフラの構築を提案します。

連絡先

info@upcycletech.jp

025-374-5353



食品廃棄物を「処理コスト」から「企業資産」へ

食品廃棄物を価値ある資源へ変える、分散型循環インフラの構築

資源を、次の価値へ。

① 社会課題 × 独自技術

食品廃棄物の現場処理で、コスト削減・環境負荷低減・地域循環を同時に実現します。

食品廃棄物の発生現場



食品工場

ホテル

商業施設

自治体



年間1,600万t
以上の
食品廃棄物

※事業系食品ロス（推計）



年間処理費用
8,000億円以上

※企業が負担する
食品廃棄物処理コスト

現在の課題



焼却



運搬



CO₂排出



廃棄
コスト増

当社のソリューション



約130℃の
触媒式低温炭化



小型・省エネ



オンサイト設置



分散処理

生成した
バイオ炭の
用途



燃料



土壌改良剤



栄養塩



飼料



建材



工業用途



新素材

生み出す価値



現場での再資源化
その場で処理・循環化



バイオ炭化
高品質なバイオ炭を生成



廃棄コスト削減
処理費・運搬費を削減



地域循環
資源を地域で循環利用

② 共創で実現したいこと

多彩なパートナーとの共創で、資源循環インフラの社会実装を加速します。

一緒に実証したい企業・団体



食品メーカー



ホテル・商業施設



飲食チェーン



自治体



鉄道



デベロッパー

実現できる価値



廃棄コスト削減



CO₂削減



ESG・サステナビリティ



地域資源循環



新たな収益源

現在の主な取り組み



企業・自治体との実証推進
食品工場、ホテル、自治体施設など
多彩なフィールドで実証を推進



国内外で事業展開
マレーシアをはじめとした
海外実証パートナー連携を拡大



資源循環インフラの標準を推進
一社ではなく、エコシステムで
社会実装を目指します



主な採択・プログラム実績



守山市
官民連携プロジェクト
サポート事業選定



Social X Acceleration
for Aichi 2026
ファイナリスト



NIIGATA PEAK
採択



FASTAR 12th
DEMO DAY
オーディエンス賞



ILS 2025
TOP100 STARTUPS
選出



ROCKET PITCH NIGHT
TOKYO : BLOOM 2026
KPMG Award /
People's Choice Award

株式会社デントエックス



代表取締役

大塩 優多 オオシオ ユウタ

dent-x.jp

登壇者プロフィール

筑波大学で工学、新潟大学で歯学を学ぶ。複数のベンチャー創業・事業売却を経て、現在は工学と歯学の知見を融合し、大学等と連携しながら高度なテクノロジーの研究開発を進め、介護現場の口腔ケア課題解決に挑む。

企業概要

株式会社デントエックスは、介護現場の口腔ケア課題をテクノロジーで解決する研究開発型スタートアップです。大学等と連携し、独自の口腔清掃機構や口腔内画像解析技術などの研究開発・事業化を推進。介護者の経験や技術に依存せず、誰でも短時間で質の高い口腔ケアを提供できる仕組みを構築し、高齢者の健康維持と介護現場の負担軽減を目指しています。

連絡先

ohshio@dent-x.jp
07031269512



製造・販売・技術を持つ大企業との具体的な共創機会を創出し、研究開発成果の早期社会実装へ

1 製造・量産連携



口腔清掃機器の量産設計、
品質管理、安全性評価、
製造体制の構築

2 販売・導入連携



介護施設・医療機関への
販路開拓、実証導入、
全国展開

3 技術・事業共創



センサー、AI、吸引機構、
データ活用などの技術連携・
共同開発



大学との研究開発
基礎研究・エビデンスの創出



大企業との共創
製造・販売・技術の連携



介護現場への社会実装
より多くの人へ、よりよいケアを

大企業との連携に関するスライド

日本ハイドロパウテック株式会社



代表取締役

熊澤 正純

クマザワ マサズミ

<https://hydro-powtech.co.jp>

登壇者プロフィール

1997年から2011年までダイセル化学工業（現ダイセル）に勤務、2011年同社退職。

退職後は、たかい食品株式会社に勤務。

たかい食品勤務時に2014年日本ハイドロパウテック株式会社を立ち上げ、現職に。

企業概要

化学薬品を一切用いずに短時間で醸造物・発酵物を製造する加水分解技術を独自開発。

食品原料として用いられる、業務用加水分解粉末等を製造、販売。また一般消費者向け製品として、乳製品不使用かつ100%プラントベースのアイスクリームブランド「ANY1 ICE CREAM（エニワンアイスクリーム）」、チョコレートブランド「ANY1 CHOCO（エニワンチョコ）」を展開。

アレルギーフリーチョコレート、アレルギー/アニマルフリーボタニミルクチョコパウダーを製造・販売。

食品以外の分野への技術応用・コンサルティングも実施中。

連絡先

m.kumazawa@hydro-powtech.co.jp

080-2258-2021



未利用資源の高度有効活用化

CONFIDENTIAL

既存の食品原料の更なる甘味、旨味向上を化学処理に頼らず達成し、また、従来技術では不可能であった衛生管理の困難さを理由に、食品として利用されてこなかった素材の有効利用、新たな美味しさを“発見”すると共に、美味しさの提供を“**当然の**”目標とし更には、様々な信条、宗教、健康上（アレルギーなど）の理由を抱える方々にも美味しく食べて貰える商品作りを行う事が弊社スローガン「**地球で生きることを楽しみ尽くす技術の探究**」となります。

*事例1（ベトナムにおける農業残渣）

ベトナム・カントー大学での共同研究 第二フェーズへ—NHPの技術から始まる、資源循環の実証—

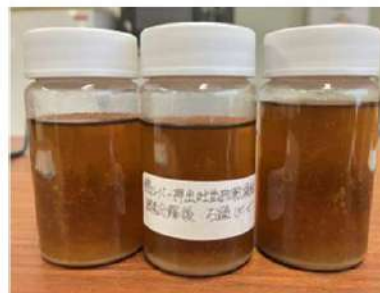


*これから

（日本における水産、畜産、農業残渣の有効利用
→「**規模感**」ある集中処理が必須）

漁業残渣例（無塩魚醬）

畜産残渣例（無塩肉醬）



株式会社パンタレイ

代表取締役

佐藤 靖徳 サトウ ヤスノリ

<https://www.pantarhei-japan.com/>

登壇者プロフィール

株式会社パンタレイ代表取締役。長岡技術科学大学発の流体技術を基盤に、風力・DAC・レオロジー領域で企業との共同研究・事業化を推進。NEDOムーンショット事業にも参画。

企業概要

株式会社パンタレイは、流体・レオロジー技術を基盤に、企業の研究開発から事業化までを支援する大学発スタートアップです。風力、DAC、フードテック等に展開し、大企業との共同研究・PoCを推進。GX領域では、自然風を活用したパッシブDAC向け集風システムの開発でNEDOムーンショット型研究開発事業に参画しています。

連絡先

y.sato@pantarhei-nagaoka.com
09045520045



英知と技術を結集、カーボンネガティブへの挑戦



本プロジェクトでは、大気中の二酸化炭素を炭素源とした資源循環型社会の実現とカーボンネガティブ達成のため、Direct Air Capture(DAC)技術でこれまでネックとなっていた送風エネルギーを必要としない、自然風や走行風を利用したパッシブDACによる大量の二酸化炭素を回収可能な低エネルギーシステムを新たに構築・実証します。



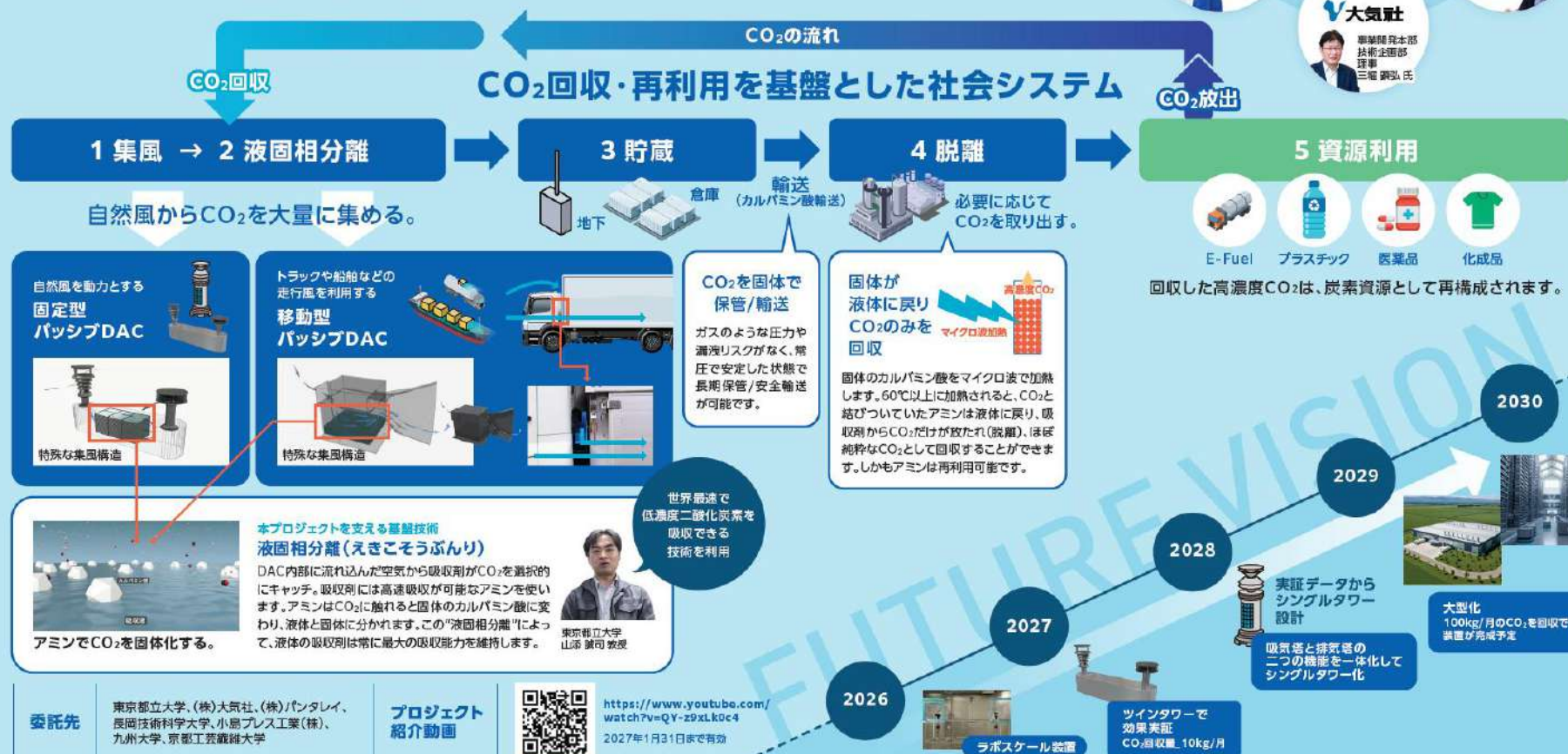
固定型パッシブDAC



トラック搭載の移動型パッシブDAC



マイクロ波分離装置





取締役 副社長

小黑 司友 オグロ シュウ

<https://www.fieldwork-s.com/>

登壇者プロフィール

長岡出身。

パソコンを小・中・高専で長年経験。

高専・長岡技大修士で情報工学(ビッグデータ×AI)を研究。

AIロボットスタートアップ1号社員を経験。

AIとロボットで持続可能な農業を実現するため、23年当社創業。

企業概要

株式会社FieldWorksは、ロボット技術で持続可能な農業のかたちをつくる、農業ロボットスタートアップです。

機械化が進まず重労働と人手不足が続く農業現場に向け、

「誰でもどこでも手軽に使える」スマート農業ロボットを研究開発し、全国へ販売しています。

業界最小の畝間用除草防除ロボット「ウネマキ」、業界初の畝間特化の草刈りロボット「ウネカル」を展開し、少人数でも続けられる持続可能な農業を実現します。

連絡先

info@fieldwork-s.com

09055592079



事業拡大の課題

つくる力： 試験評価、組立、部材調達

電気回路、機械構造

機械

ポンプ、タンク

届ける力： 販売網・流通、自社農場

支える力： ロボット対応可能な代理店様

より多くの農業者に届けるため、ご協力者を探しています

連絡先：info@fieldwork-s.com



フォレストフォークス

株式会社ForestFolks



代表取締役

桜井 隆志 サクライ タカシ

<https://www.forestfolks.jp/>

登壇者プロフィール

新潟県南魚沼森林組合で植林～伐採まで10年以上従事、林業関連の各種免許を保有。2023年5月ForestFolksを設立し代表取締役CEOに就任。1,000年先を見据えた長期ビジョンと対外戦略を担う。

企業概要

ForestFolksは「1000年先も継続できる森林経営」を掲げ、放置林を価値ある資産へと変える森林アセットマネジメント事業を展開しています。独自の森林DXツール

「Forester Earth」を活用し、管理コストの削減と森林の多面的価値創出を両立。従来の「木材生産業」から高収益な「生態系サービス業」へ林業の構造を変革し、気候変動課題の解決と地域経済の活性化を実現します。

連絡先

forester@forestfolks.jp

09055749811



ForestFolks

Vision 1,000年先も継続できる森林経営

設立 2023年5月
新潟県南魚沼市

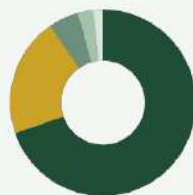
森林を「資産」として運用する森林アセットマネジメント事業で、森林・林業の構造課題を解決する



事業説明(新しい森林管理方法の確立)

- 森林を「負債・災害リスク」から「投資対象となる資産」へ捉え直す、森林アセットマネジメント事業を展開
- 自社開発のデータ基盤「Forester Earth」(衛星・ドローン・現地データ)で収益化できる森林を見極め、経営計画・行政報告・補助金申請等の事務を電子化
- 木材を売って終わりにせず、用途に応じて段階的に使い切る独自の加工連携(高級建材への加工、未利用材の新素材化等)により、丸太販売より高い単価を実現
- 管理報酬・システム利用料など、伐採一回きりでなく「管理を続けること自体が利益を生む」収益構造を構築
- 森林所有者・自治体・企業をつなぐ協業体制と地域単位の森林ファンドにより、重い固定費を抱えずに管理規模を拡大

収益構成イメージ:木材関連が 72%
(2036年・事業数値計画ベース)



■ 木材関連収益
■ 環境価値関連収益
■ 業務委託
■ 立木買い
■ その他



将来の展望

- 森林アセットマネジメント事業として、管理森林の拡大と運用資産規模(AUM)の拡大を推進
- 森林環境贈与税をはじめとする公的財源の活用を後押しする「森林インフラ事業」として、全国へスケール
- 炭素・水源・生物多様性・防災など森林の多面的価値を可視化し、資源循環と防災力向上を両立する新しい森林管理モデルを確立



企業パートナーとの連携

- 「フォレスト・オーナー」として、地域森林ファンドへの出資等を通じたパートナーシップへ参画
- 製材・建材・素材メーカー等との連携による、木材の高付加価値な加工・活用における事業連携
- 衛星・ドローン解析や大学等との共同研究など、データ・技術面での事業連携
- 自治体・地域と連携した防災・環境価値創出における協業

森林整備が生み出す、もう一つの価値 — 地方創生

木材生産・環境価値・インフラ機能に加え、ForestFolksの森林整備・管理事業には重要な副次効果があります。地域に経済効果と雇用を生み出し、整備された森林の景観・整備後の利活用を通じて住みやすい地域をつくり、関係人口を増加させる「地方創生ソリューション」です。



森林整備・管理
継続的な整備事業を
地域で実施



地域経済効果・雇用創出
地域企業への発注・
現場での雇用機会



景観形成・整備後の利活用
住みやすい地域づくり
つながる森林空間



関係人口の増加
交流・移住の
きっかけを創出

株式会社プラントフォーム



代表取締役CEO

山本 祐二 ヤマモト ユウジ

<https://www.plantform.co.jp/>

登壇者プロフィール

2015年に雪を活用したデータセンターのベンチャーを創業。2018年に同DCの余熱で食料生産事業を行う(株)プラントフォームを創業。循環型農法アクアポニックスで新たな食料生産システムの実現を目指す。

企業概要

当社は、陸上養殖、肥料生産、水耕栽培を同一システムで行う循環型の食料生産システム「アクアポニックス」の商用プラントの開発に国内で初めて成功しました。現在はこのアクアポニックスのシステム販路と運営支援サービスの提供を行っています。この持続可能な新しい食料生産システムを拡大させることで、世界人口100億人時代へ向けて強く懸念される食料危機と我が国の食料安全保障への貢献を目指しています。

連絡先

info@plantform.co.jp
0258868460

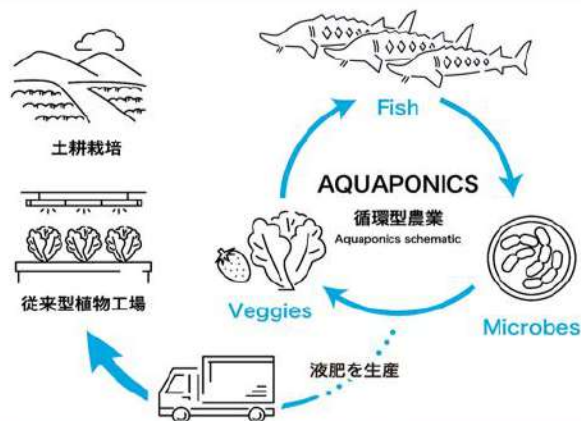


大規模アクアポニックスシステムのリーディングカンパニーとして 導入実績は全国18箇所に拡大

(メタウォーター、東北電力、NTT東日本、J-POWER、三井住友銀行、アース環境サービス、マルハン、穴吹ハウジングサービス...他)



当社が描くミライ『肥料循環型・食料生産システム』



養殖排水から液肥を抽出する
アクアポニックスを開発
肥料生産機能を拡張して
新たな肥料循環型の
食料生産システムの実現を目指している

<関連特許>

- ① 養殖水を肥料化し水耕栽培に活用する食料生産システム (特許6876187号) (特開2022-524545)
- ② 成分別肥料生成技術 (特開2023-112612)
- ③ 花用肥料生成技術 (特許7602295号)

パートナーシップの実績



当社が求める連携/パートナーシップについて

- アクアポニックスに興味がある企業様
→ 事業参入、事業提携、共同研究etc..
- 植物工場 & 陸上養殖に興味がある企業様
- アグリ領域で投資先を探しているVC、事業会社様

<連絡先>

代表取締役CEO 山本祐二
yamamoto@plantform.co.jp



公式サイト

株式会社プロッセルホールディングス

代表取締役CEO

横山 和輝 ヨコヤマ カズキ

<https://hd.prossell.jp>



登壇者プロフィール

1998年生まれ。長岡高専専攻科修了。2020年に株式会社プロッセルを設立。2025年11月からは株式会社プロッセルホールディングスとして、町工場とAIを軸とした事業を展開している。Forbes Japan 30 under 30

企業概要

株式会社プロッセルホールディングスは、新潟を拠点にAI開発を自ら手がける事業持株会社です。傘下に、高専生の人材紹介・教育を担う株式会社プロッセル、AI開発の株式会社プロッセルテクノロジーズ、超小型サイクロイド減速機部品などハードウェア開発を行う株式会社越後鐵工所を持ち、今後は後継者不足に悩む町工場のAIによるDXとロールアップも進め、製造業の変革を目指します。

連絡先

kazuki.yokoyama@prossell.jp
0253651584



町工場 × AI × 高専人材で、 日本のものづくりを次の100年へ。

大企業の皆さまと連携したい、3つのこと



01

FDE

Forward Deployed Engineering

貴社の製造現場に、AI×FAのエンジニアが入り込みます

AIエンジニアとFAエンジニア（制御盤・PLC・検査装置）が同じチームにいるため、貴社の設計部門や工場に入り込み、現場の課題をその場でAIと設備の両面から解決します。受注から設計・製造までを一貫して支える自社AI基盤「FA Engineering OS」（図面作成AI、2D→3D変換、案件管理など）を活用し、画像AI検査や設計自動化のPOCを短期間で立ち上げられます。

大企業の皆さまと連携したいこと

工場・設計部門でのAI導入POC（画像検査、図面・PLC設計の自動化）を共同実施

貴社グループ工場のDX内製化を支える伴走型エンジニアリング契約

産業機械・ロボティクス領域での共同技術検証

こんな部門・企業様と

製造業、FA機器メーカー、プラント／設備を持つ企業様



02

FA製造

貴社工場のFA・自動化設備、まるごと請けます

制御盤・自動化装置・部品加工を、設計から製造まで一社で

グループ会社の越後鐵工所（新潟・長岡）で、FA機器・制御盤・自動化装置の設計・製造と精密部品加工（超小型サイクロイド減速機部品など）を行っています。電気設計・PLCソフト・機械設計・製造を内製し、自社基盤「FA Engineering OS」で設計工程を効率化しているため、小ロット・短納期の案件にも対応できます。

大企業の皆さまと連携したいこと

貴社工場の生産ライン新設・改修時の制御盤／自動化装置の設計・製造発注

既存設備の改造・更新（PLC置き換え、検査工程の自動化など）

精密部品・治具の加工発注、および協力工場（サプライヤー）としての登録

こんな部門・企業様と

生産技術・設備部門、調達・購買部門、工場を持つ製造業様



03

高専生採用

高専とつながる人材チャネル

即戦力の技術者候補に、最短距離でアクセスできます

創業以来の高専特化HR・教育事業（高専生・高専OB向け紹介、長岡高専導入のインターン管理SaaS、ポッドキャスト「そのまま高専ラジオ」）に加え、代表は一般財団法人高専人会の理事。企業単独ではアクセスしにくい全国の高専と、実際に人が動く関係を持っています。

大企業の皆さまと連携したいこと

高専生・高専OBの採用（新卒・中途）チャネルとしての活用

有給インターンシップ・共同プロジェクトの設計と運営

高専での出前授業・共同イベントによる早期の関係構築

こんな部門・企業様と

人事・採用部門、技術系新卒採用を強化したい企業様



代表取締役

古津 瑛陸 フルツ エリク

<https://lacus.co.jp/>

登壇者プロフィール

2001年長野県上田市生まれ。開志専門職大学在学中の2022年、同大学初の公認学生ベンチャーとして株式会社LacuSを創業し、代表取締役に就任。経済産業省アントレプレナーシップ推進大使任命 他。

企業概要

2022年創業の新潟発フードテック・ケアテックスタートアップ。人生の最期まで食べる喜びを届けるため、終末期や高齢者の経口摂取を支える完全栄養食ブランド「Me TIME FOODS」（Me ICE／Me SOUP）を展開。D2Cに加え、介護施設や薬局など法人向けにも販路を拡大中。Forbes JAPAN「世界を変えるインパクトスタートアップ30」選出、J-Startup NIIGATA選定。

連絡先

eriku.furutsu@lacus-office.com
08022772135





日本を、 ずっと健康に。

おいしさとテクノロジーで、
すべての人が食べる喜びを
これからも。

食べる喜びが、
生きる力になる。

Me ICE

栄養を、おいしく、
アイスで。

目指す未来

すべての高齢者が、 おいしく食べ、健やかに生きる社会へ。

私たちは、食の力で高齢者のQOLを高め、
医療・介護・社会保障の持続可能性に貢献します。
日本から、アジア、そして世界へ。
食でつながる、やさしい未来を共に創りましょう。



給食事業者

全国の施設・病院へ、
おいしい栄養を。



介護施設

食べる喜びで、
その人らしい毎日を。



在宅シニア層

自宅でも手軽に、
栄養バランスの取れた食事を。



海外展開 (アジア)

日本発の栄養食品を、
アジアの高齢化社会へ。

会員企業の皆さまへ

高齢者の食の未来を、 一緒につくりませんか？

LacuSは、完全栄養の食を起点に、高齢者の健康寿命の延伸と
持続可能な社会の実現を目指すフードテック・ケアテックカンパニーです。
日本の、そしてアジアの高齢化という大きな社会課題に対し、
共に挑戦する会員企業の皆さまとの協業・資本提携を募集しています。



食品・飲料メーカーの皆さま

- 共同開発・OEM
- 原料調達・製造技術の連携
- 商品ラインナップの拡充
- 健康・高齢者向け食品の共創



給食・介護・医療の皆さま

- 介護施設・病院での導入
- メニュー共同開発
- 栄養管理ソリューションの構築
- 現場の課題解決に向けた実証



商社・小売・流通の皆さま

- 販路拡大・チャネル開拓
- PB展開・共同ブランド
- 海外展開の協業
- シニア向けマーケティング



投資・M&Aの皆さま

- 資本提携・戦略的投資
- M&Aによるプロダクト・技術・
販路の拡大
- グローバル展開に向けた共創
- 長期的な成長パートナーシップ

経団連Startup Slackのご案内

2023年12月立上、約**650**名が参加中！（2026年9月現在）

	会員企業 スタートアップ担当・CVC担当	スタートアップ ※ KIX登壇企業 ※ 会員スタートアップあるいは 連携アクセラレータからの紹介制
経団連からの お知らせ	経団連開催イベントの案内	
	政府・VC・大学などの外部イベントの案内	
	スタートアップ フレンドリースコアリング 結果レポートの返送・回答履歴の蓄積 (非公開・経団連と企業の1対1のスペース)	KIX・イベント等の登壇募集
お役立ち 情報	政府・自治体の制度・支援策等の案内	
	大企業向けTips	スタートアップ向けTips
相互交流 スペース	自由投稿の広場	
	企業同士の個別チャットルーム（非公開・任意に設定可能）	

登録・利用費用は一切発生いたしません
積極的なご参加をお願いいたします！



お問い合わせ先

経団連 産業技術本部 スタートアップ担当

渡部（03-6741-0856）

KIX@keidanren.or.jp

参考：経団連のスタートアップ振興の取り組み
<http://www.keidanren.or.jp/policy/StartUp.html>

